

令和5年度静岡県総合社会福祉会館指定管理者審査委員会委員第2回委員会 会議録

日 時	令和5年10月19日(木) 10:00~12:00
場 所	総合社会福祉会館 602 会議室
出席者 職・氏名	〈委員長〉東野 定律 (静岡県立大学経営情報学部 教授) 〈委員〉青野 全宏 (静岡県車椅子友の会 会長) 菅原 小夜子 (一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 会長) 鈴木 丈規 (鈴木丈規税理士事務所 所長) 松下 好宏 (静岡県建築士会 副会長) 勝岡 聖子 (静岡県健康福祉部福祉長寿局長) ほか、事務局
議 題	静岡県総合社会福祉会館指定管理者優秀者の選定について

注意：各委員及び事務局の発言要旨を記載している。

各委員については発言を特定していない。

1 委員長選出

委員の互選により、東野定律委員(静岡県立大学経営情報学部 教授)を委員長に選出した。

2 事務局説明

事務局から審査の流れ、審査の基準などを説明した。

3 プレゼンテーション及びヒアリング

(1) 静岡県社会福祉協議会・静岡ビル保善グループ

プレゼンテーション後に、委員によるヒアリングが行われた。

委員：現在、入居団体が36団体いるとのことだが、それ以外にも入居を希望している団体がいると思う。施設の物理的な問題等もあり難しいところもあると思うが、全体のバランス、施設のスペースも含めて、入居希望団体へのニーズに対してどのように応えようと考えているのか。

申請者：御指摘のとおり入居を希望している団体はいますが、現状の総合社会福祉会館では1つの部屋で複数の団体が入居している部屋もあり、なかなか難しいところがある。何とかならないのかということは、いつも考えている。

委員：自主事業として、北街道マルシェ等と協働して収入を得ることや、いこいの広場を利用して人を集めるという取組については、すごく賛成する。
社会福祉会館が北街道商店街の一部として参加して、もっとやさしいまちづくりを提案していくため、一緒に協働のイベントをすることは非常に賛成ですので、積極的に

まちづくりに対しても意見を言えるような立場であってほしい。

申請者：ありがとうございます。

委員：収支計画の支出について、人件費では5%程度の上昇率を見ており、またその他の経費や光熱費も上がっていく計画の中で、修繕費が各年で600万円から700万円程度である。こちらについては、増える余地はないのか。リスクがあると思うがどのように考えているのか。

また、収入においては、共益費負担金収入というのが100万円ずつ上がっていく見込みだが、実際にこのとおりになっていくのか。4年目以降に赤字になるということで、これが拡大するとやはり事業の存続性が危ういと思うので、その2点についてお答えください。

申請者：1件30万円未満の修繕工事は指定管理者が行い、30万円以上の工事は県でを行うこととなっているが、それはここ(収支計画書)には表現されていません。

また、小規模な修繕は、優先順位をつけて逐次直していき、それを全入居団体に対して説明を行い、了解をいただいています。

共益費収入の見込みは、過去5年間のものを参考に算定したものです。

委員：静岡ビル保善が、設備・警備・清掃担当ということで委託をしたいと思います、この委託というのは静岡ビル保善が再委託をするということですか。

申請者：そうです。

委員：その場合、委託の内容も含めてかかる経費や取扱いは毎年、委託を出す前に査定をするのでしょうか。

申請者：はい、もちろんです。毎年見直しをしていく予定です。

委員：その場合、収支計画書に載っている業務委託費が、下がったり上がったりしていますが、当然人件費は高騰していくとなると、業務委託費が同年同じような金額で収まるのか疑問に思う。それと建物の維持管理はメンテナンスを含めて、やはり通年だと維持費が多少なりとも上がっていくと思う。これから国の政策で省エネ化を進めていく段階で当然、照明のLED化や他の省エネに対する修繕が必要になってくると思う。

申請者：業務委託費は、どの程度までコストの削減ができるのかは保留（不安定な社会経済情勢から正確な見通しが難しい）の状態のため、計画値を入れてありますが、削減をしていきたいと思っています。

LED化は、費用のかからないレンタルでの改修工事という方法もあるので、今後、

施設の管理をすることになった場合、修繕の計画、見積りを出して、検討していきたいと思っています。照明のLED化は前向きに検討していきます。

委員：有料会議室の収入額計画(R6)が13,863千円となっていますが、後年度と比較すると高くなっています。1,200万円(12,863千円)の誤りではなくて、ここだけ収入が非常に多いのであれば、理由を教えてください。

申請者：R6(収入額計画)を出すときの基本となったのが、コロナ禍前の利用者数から試算して、金額を設定したところです。

会議室によって単価も違うので簡単にいきませんでした。このような結果になりました。

委員：夜間の会議室の利用率向上に努めるとのことですが、具体的にやっていきたいことがありますら、教えてください。

申請者：PRしかありません。1つ本会館のいいところとしては、警備員が常駐しており、夜でも必ず人がいてくれるという安心さはあると思いますので、そこを強調して他の施設との違いを伝えていきたいと思う。

委員：有料会議室の利用率ですが、シズウエルは予約を取りにくい。それはいつも予約が埋まっているため、その背景には、取れないから同じ事業で複数の会議室を取って、とりあえず保険をかけておく。関係者に事業の案内等を出すためには、会議室を予約しないと出せないのも、結果として他の施設の会議室を借りるということが、ずっと続いていると思う。結果、キャンセルの解消はずっとされないだろうということ、確実に使ってくれる人は他に流れる。そこに対して何らかの工夫をしない限りは、利用率は上がらないと思う。新規開拓も大切だから同時進行だと思うが、その壁がなかなか厚い。そのあたりの工夫をどんなふう考えられているのか。

申請者：利用者数増加方策は、申請書に3点記載がありますが、このうちキャンセル低減が一番大事なところ。

現在、努力はしており、601会議室と703会議室については、開催月の4か月前から月1回、開催の確認を行っている。

今後は、このような取り組みを他の会議室でもしていきたいと思う。

委員：施設の劣化診断の判定結果によっては、3年ごとに見直しをしなければいけない設備等もあると思いますが、これは静岡ビル保善が関与していくという理解でよろしいでしょうか。どういう内容の点検していくのでしょうか。

申請者：日常点検というものがございます。こういった施設の特性から、いろいろな方が利用されます。日頃から私も管理に携わっており、巡回の中で危険な箇所などは常に監視して、劣化具合をしっかりと見てほしいと伝えています。ただ劣化を待つのではなくて、初期の段階で対応できるようなものがあれば、適宜私達の方で、手を加えるというところは行っていきたいと思います。

委員：自主事業における収支計画ですが、収入・支出とも5年間同じ金額で推移している。今後、多くの方が施設に来るのであれば、収入の見込みが、もう少し上がってもよいと思う。同じ金額ではなくて、収入をより増やすような取組や仕組みを考えていていただきたい。

また、指定管理事業の収支計画でも、利用料金の収入というのは、R6年度から多少増減はしてるんですけども、利用者数が増えてくれば、その業務の収入も増えていくと思いますので、是非このあたりの数字を意識しながら運営管理を行っていただけると良いのですが、そのあたりどのように考えているのでしょうか。

申請者：おっしゃるとおりです。自主事業については、私共がやったことのないイベントを計画しています。それに対して本当にこの収入になるのかと言われると、正直分からないというのが本音です。ただ、フェスタシズウエルをやっていた経験からすると、この程度はいけるのではないかと考えている。

収入についても一定の数字で上昇していくとした方が、今後、努力していくことを考えると筋が通ると思いますが、その数値の妥当性を示すことができなかったところです。

工夫をしていき、PDCAを行っていくことは当たり前なので、利用客の声を聞いて、改善していきたいと思っています。

4 採点及び優秀者の選定

事務局：静岡県社会福祉協議会・静岡ビル保善グループの合計点は529/600点、平均は88.2/100点です。

委員長：静岡県社会福祉協議会・静岡ビル保善グループを優秀者として決定するが、よろしいか。

全委員：異議なし。

5 講評

委員：建物の劣化が進んでいくことはどうしても避けられない事実なので、県でも予算取りの段階で対応いただきたい。照明のLED化については、今後とも推進していただき、県のバックアップもお願いしたい。

委員：安定して収入があり、支出も問題ないだろうと思います。細かい部分は精査できませんが、そういう心証を受けました。

委員：今までどおりの体制でこれからも続くということで、安心はできますが、どれだけ新しい風が入ってこれるのか。これから県社協がどういう視点を持ちながら、総合社会福祉会館を育てていき、変えていくということ、これから5年間で作っていただければ嬉しい。

委員：この会館の目的を考えれば、福祉の専門組織がきちんと運営をするということと、建物の維持管理については、その専門性の高いところと手を組んでやるというのは妥当だと思う。

ただ、同じ組織で長く運営されることについては、その組織の持つ文化、土壌というのがどうしても反映されて、そこから抜けきれないところも出てくると思うので、時代に合った新しい風が入ってこないといけないと思う。いろいろと創意工夫していただきたいと思う。

委員：これまでの実績があるので、安心感・安定感があると感じている。今回、利用率向上のために、いろいろなことを考えて提案をいただいたと思うので、それを是非実現していただけると嬉しい。そこを期待をしたいなと感じた。

委員：公的な機関の運営ということでスクラップ&ビルドしていくことが難しいところがあるかと思うが、世の中の流れや状況として変えるべきところは変えていかなければいけないと思う。

サービスの向上というところをより一層力を入れていただきたい。今回の評価点ではそこ（サービスの向上等）が一番低いので、頑張っていたいただきたいと思う。

6 閉会